

会報の会報

69

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 501 号

1969.5.6 (火) 晴

例会場 鶴岡市本町2丁目 ひさごや
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ② 5775

会報はご家族みんなでよみましょう

四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all concerned?

「参加し、敢行しよう」

2月	地区別順位 48位	会員数 62名	出席率 87.19%	前月順位 53位
----	--------------	------------	---------------	-------------

卓話 自分の会社の経営について
池内方平君

出席報告

本日の出席 会員数 64名
出席数 46名
出席率 71.88%

欠席者 粕川君、長谷川君、平田(圭)君、富樫君、石黒君、金井君、嶺岸君、三井(賢)君、森田君、中台君、大竹君、齋藤(米)君、齋藤(信)君、篠原君、辻君、藪田君、金野君、白井君

前回の出席 前回出席率 65.63%
修正出席数 51名
確定出席率 79.69%

メーカーアップ 林君一酒田東RC
石黒君、五十嵐(一)君、嶺岸君、五十嵐(八)君、三井(賢)君、中山君、佐藤(伊)君、黒谷君一鶴岡西RC

ビジター 土田高之丞君一村上RC
藤森才誌君一中條RC
齋藤一郎君一酒田RO
石寺龍象君、工藤繁雄君
一鶴岡西RC

ソング 君が代、奉仕の理想
リーダー 三井 健君
司 会 副会長 三井 徹君

★山形クラブの今年度の会長渡辺一君が東京で病氣療養の処4月26日永眠いたしました。茲に生前の御交誼を深謝し謹んで御通知申し上げます。休日につき弔意を表していませんが、近く弔意を表したいと思ひます。

★金井国之助さんの葬儀に際しての御礼状が参っております。

★社会福祉思恩会々長に前田巖さんが就任されました。

卓話 自分の会社の経営について
池内君

私が鶴岡に参りましたのは、昭和20年戦争の最中でした。鶴岡には長く御世話にならないつもりで、この地方に参りました魅力として、当時、食糧難で、鶴岡に行けば米が喰えたと聞かされ、子供も多かったので、当時生きるということが第一で、鶴岡に参ったのです。

その後、東京に帰るべく、チャンスをねらって参りましたが、今の会社の前進に一寸関係したのが私の人生の大きな岐路にたったわけです。帰る機会を失って、今日まで御厄介になっております。ささやかな事業を始め、勿論金もないし、唯事業を続けるということ

は、いかなる方法をとるべきか、私に考えさせられた一つの問題でした。

その当時従業員20名位ということで、戦後の混乱状態における、これからの日本の産業のあり方ということです。これから企業をやっていくことにたいして労使一体となった経済、当時修正資本主義という言葉が聞かされました。それは、戦後財閥は解体され、農地は解放といったかたちで、すべてが日本経済を崩潰に導くような、手段をアメリカがとったのです。

我々か、これから生きていくには、どうあるべきか、我々は資本家になる資格もなければ、又金もないので、従業員と共に生きる道を探すべきだということから修正資本主義ということから、共鳴したわけですから。

修正資本主義と申しますと、本来の資本主義は、資本から経営をやっている、あるいは資本家は経営者をおいて事業を継続するという形、資本、経営、労働この3つが企業が経営されるわけです。修正資本主義の場合は、勿論資本は別にもとめて、経営技術者が必要なわけで、私は修正資本主義を一步前進させて、労使が資本家になって、そうして私は経営者として企業をする。

労使が資本家になることは企業によって得た利益を、従業員に分配することによって株をもたせる、そうして資本を増していく形。それを15年程前考え、従業員に宣言してみんなの協力を得て今日にいたりました。

現在私の会社の株85%は従業員が持つております。私は1割10%、これが私の考え方で勿論、会社の利益を従業員にやることに対しては、税法上何にも問題はありますが、仮りに私がとるとすれば、これは利益処分後の社長賞与としてもらう時は可能ですが、その前にとることは出来ない。従業員には少しづつではあるが、利益を配分し、増資にふりむける形をとって来ました。

こういう資本を作る手段としての私の経営方法、これは果たして良いか、悪いか、大きな問題で後日皆様も私の立場にたってみた場合、研究なさったほうがよいと思います。以在私の会社にも労働組合がございます。数年前は上部団体とのつながりもありましたけれども、将来はやめた方がよいだろうということをお話して、今はありません。

組合は年に2、3回要求は出しますが、私は常にいますことは、僕のしめんは、総会に於いて君達の票数に於いて可能であることこれは、君達に僕の首をあたえてやる、これが私の常套手段といえますか、これは、自分としても気が楽です。私の能力がなしと従業

員がみた場合、従業員から社長やめるといふ声が出ると思います。

それは、最初から予期していることで、自分もそのときは、喜んでやめる腹で経営しております。労使一体とした資本構成からいった経営は、育つものならば一つのモデルケースとして、社会の対象になっても結構ではないか。これが私の唯一の楽しみであり、私の人生の大きな目標であったように、今になってははっきり認識しております。

そういう考えの当時は、自分もはっきりしませんでした、それから15年たった今日では、それを人の前でもいえるということが自分でも腹がきまっている考えがします。

私の経営は、労使一体となった資本は従業員に多くもたせて、自分の首を従業員から切ってもらう、こういう形で経営している。これはどこでも常用するものではありませんがある程度参考になるだろうと考えます。私の知っている範囲では少ないようです。

事業の内容もありましようが、こういう事もあるんだと考えて、世の中は一年一年大きく転換していく中で、これからの社会がどう変わるか、わからない現代に於いて、我々労使関係に何か新しいものに我々は遭遇するのではなからうか。そうすることが利巧ではなからうか、予感もしないわけでもないのですどうか、私の生き方を色々な目でみていただいて参考になれば幸いです。

会員誕生

阿部公一君、金井勝助君、小花盛雄君、辻敬助君

奥様誕生

石黒常様、加藤静江様、黒谷貞子様、篠原多美枝様、鈴木久子(昭治)様、林寿美子様

4月100%出席 43名

阿部(公)君、安藤君、阿部(襄)君、張君、早坂君、林君、飯白君、池内君、石井君、石黒君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、五十嵐(一)君、海東君、加藤君、小花君、小池君、今間君、嶺岸君、三井(徹)君、三浦君、五十嵐(八)君、三井(賢)君、三井(健)君、手塚(林治)君、中台君、中山君、大竹君、齋藤(栄)君、齋藤(得)君、佐藤(伊)君、鈴木(昭)君、篠原君、鈴木(善)君、新穂君、鈴木(弥)君、小野寺君、佐藤(忠)君、手塚(林蔵)君、津田君、辻君、鷺田君、上林君

幹事報告

会報 尾花沢、鶴西、石巻、米沢西、郡山西、東京、宮内
353地区年次大会 9月28、29日

献 立 天ぷら-エビ、茄子、うど、竹の子、獅子頭 焼物-小鯛 味噌汁-わらび